

第1回 海辺の学生フォーラム2010

募集要項

～海辺の未来に生きる 僕らの描くリーダー像～

海辺の学生フォーラム(Seaside Students Forum)とは…?

海をテーマに学び活動をしている人々が交流する場です。

この場を通じて、海辺の未来を担うリーダー像を創造していきます。

多くの生きものが住んでいる、海。

私たちの感性を育む、海。

あらゆるフィールドになる、海。

全てとつながっている、海。

様々な恩恵をくれる、海。

いろいろな面でテーマになる、海。その全ての分野を含めた「海辺」。

そんな海辺の未来を、海に「学」び親しみながら「生」きている僕ら「学生」で、考えていきましょう。

(現役大学生でなくても、大歓迎!)

未来の海辺に生きる僕らに、今、できることは、

未来での理想の姿となる「リーダー像」を描くことなのです。

熱い想いが出会い、新たな絆が築かれる2日間。

- ・自分のしている活動や考えをいろいろな人に話せる。
- ・海についての学びが深まり、視野が広がる。
- ・未来の自分の姿にも気付いてくる。
- ・こんな僕らの2日間を、社会にも発信!
- ・2日間で終わりにするのではなく、その後もずっと、もっと、続いていく。

…そんな場になるのが、2日間にわたる海辺の学生フォーラムです。

開催概要

日時: 2010年3月6日(土)～7日(日)

場所: 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 (JR 線品川駅より徒歩10分)

<http://www.kaiyodai.ac.jp/info/access/access.html>

お車でのご来場はご遠慮ください。

主催: 海辺の学生フォーラム2010実行委員会

sssf2010@popoftheworld.net

<http://www.popoftheworld.net/sssf/>

後援: 日本財団 <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

参加費: 大学生・高校生1000円/一般1500円

宿泊費・交通費・懇親会費は含まれておりません。

保険への加入もしておりませんのでご了承ください。

参加費は、当日集金いたします。お釣りが出ないようにご用意ください。

定員: 100名

2日間の流れ(予定)

3月6日

9:00 開会式

- 9:30 アイスブレイキング
(2日間語り合う仲間と、初めのコミュニケーションをとるための簡単なレクリエーション)
- 10:00 ゲストスピーカー講演
・フリーダイバー 篠宮龍三氏
・海洋ジャーナリスト 内田正洋氏
- 11:20 UMI - COLLECTION
(ポスターセッションのエントリー者アピールタイム)
- 12:00 昼食
- 13:00 ポスターセッション
- 14:00 グループディスカッション
(話し合うテーマは、「海辺の未来に生きる 僕らの描くリーダー像」)
- 18:00 懇親会 (自由参加です。途中解散も大丈夫です)
- 21:00 最終解散時間

3月7日

- 9:00 グループディスカッション (前日の続き)
- 10:00 各グループ 報告会 (発表)
- 12:00 昼食
- 13:00 生物多様性コンテスト
- 17:00 全体報告会 総評
- 18:00 閉会式
- 18:30 懇親会 (自由参加です。途中解散も大丈夫です)
- 21:00 最終解散時間

ゲストスピーカー紹介

篠宮龍三氏 プロフリーダイバー

2008年4月バハマにて、アジア人初となる水深100mを達成。

同年AIDA世界ランク2位入賞(-104m)。

2009年4月にはジャック・マイヨールの自己最高記録である水深105mに、
純粋な素潜りのコンスタント種目で到達した。

国内唯一のプロ選手として国際大会を中心に参戦中。

競技活動の傍ら、沖縄でスクールや大会も運営。

OneOceanを自身のメッセージに掲げ、様々なイベントをプロデュースしている。

<http://www.apneaworks.com/>



内田正洋氏 海洋ジャーナリスト

日本レクリエーションカヌー協会理事。

東京海洋大学非常勤講師。

パリ・ダカール、バハ1000などのデザートレースを経て海のカヤック世界へ。

それ以降、日本のシーカヤック界を牽引してきた。

98年にハワイの古代式カヌー「ホクレア」に出会い、

以後「ホクレア」の世界を日本に紹介。

近年はシーカヤック・アカデミーの実践版、

「瀬戸内カヤック横断隊」を企画し実践している。

著書に「シーカヤッカーズ。ハンドブック」(マリン企画刊)がある。



現在は海洋緑化協会のキャプテンを務めるなど、
海洋環境保護活動にも取り組んでいる。

<http://fotopus.com/naviblog/uchida/>

ポスターセッションについて

参加者のみなさまが自分の持つ情報を発信し、交流の機会を持つための場です。「自分はこんな海につながる活動をしている」「海についてこんなことを研究した(勉強してきた)」「海に関してこんなことを思っている」「海を思い描きながらこんなことをしてみたいと夢見ている」などなど、紹介する発表の中身は自由です。話を広げたり深めたりするキッカケを作る場として、楽しみながら活用してください。

発表方法としては、自分の紹介したい内容のポスターを作成して来てもらい、それを展示させていただきます。ポスターの作成・発表は、お一人のエントリーでも何人かの団体でのエントリーでも構いません。1つのエントリーにつき、長机1つ分(幅180cm)が使用できます。ポスター以外にも、何か机に置けるような小物や配布物等ありましたらそちらも展示できますので長机1つ分のスペースを自由にお使いください。

また、ポスターは一度全員に見てもらいたいと思いますので、長机に展示する前にUMI - COLLECTIONというポスターショーの時間をとります。パリコレのファッションショーのようにポスターを持って1分間歩きながら、アピールして下さい。この時間の衣装や看板、ポスター、演説やパフォーマンスなど、表現方法は自由です。皆さんの素敵なコレクションをぜひこの機会に発表してみませんか。

生物多様性コンテストについて

わたしたちが住む地球には、多様な生物が存在しています。しかし、もし地球上に人間以外の生物がいなくなったらどうなるか・・・考えたことはありますか。

「そもそも、生物多様性とは何か」「なぜ生物多様性が求められているのか」「実際にわたしたちは何をすればいいのか」など、海辺の学生たちが考える生物多様性のカタチを自由に表現し、発表し合うコンテストです。音楽、映像、漫才、演劇・・・などなど、自由でクリエイティブな発表を期待しています。1チーム5人以内、8チーム限定です。1チーム持ち時間は15分間です。コンテスト出場希望者が多い場合は選考とさせていただきますので、予めご了承ください。

(機材や設備の都合上、ご希望の発表方法に沿えない場合がございます。

詳細はメールにて、担当・藤田までお問い合わせください。)

宿泊場所について

宿泊場所については各自で手配をお願いいたします。

(HPより、mail newsの第二報を参考にしてください。)

申し込み方法

お申し込みは、HPかE-mailをご利用ください。

HPをご利用の方は、<http://www.popoftheworld.net/sssf/>にアクセスをお願いいたします。

E-mailをご利用の方は、以下の項目を、

学生フォーラム2010参加者受付用アドレス(ticket@popoftheworld.net)まで、ご送信ください。

必ずメールの件名に「学生フォーラム2010申し込み」と入れてください。

1. 氏名(漢字)
2. 氏名(ひらがな)
3. 年齢

4. 性別
5. 所属
6. 職業
7. 出身地
8. 住所(勤務先か自宅かを明記)
9. 電話番号(勤務先か自宅かを明記)
10. E-mail アドレス
11. 上記以外の連絡手段(携帯電話など)
12. ポスターセッション発表希望の有無
(発表希望の方は、個人発表か団体発表かも教えてください。団体の場合は、一緒に発表する人の名前も教えてください。)
13. 1日目と2日目の懇親会参加希望の有無
14. 生物多様性コンテスト参加希望の有無
(参加希望の方は、個人参加か団体参加かも教えてください。団体の場合は、一緒に参加する人の名前も教えてください。)
15. 海辺の学生フォーラム参加の志望動機(文字数は問いません。)

これらの個人情報は、本人の承諾なく公表はしません。

お申し込みを確認いたしましたら、1週間以内に必ず返信さしあげます。もし1週間経っても連絡が無い場合、届いていない可能性も考えられますのでお問い合わせください。

もし、1月23日の時点で定員がオーバーしていた場合は、申し訳ありませんが選考させていただきます。選考結果は1月末日までにみなさまにご連絡いたしますので、予めご了承ください。

実行委員会

実行委員長:

藤田岳(東京海洋大学)

実行委員(50音順):

岩崎万莉枝(国際基督教大学高等学校)

桑田ひとみ(文化女子大学)

相良菜央(玉川大学)

長瀬雄喜(芝浦工業大学)

椋木直人(芝浦工業大学)

吉田麻枝(東京海洋大学)

我妻三弥子(東京海洋大学)

お問い合わせ先

何かご質問等ありましたら、何でもお気軽にお問い合わせください。

「海辺の学生フォーラム2010 実行委員会」

sssf2010@popoftheworld.net お問い合わせ担当:相良菜央

1週間以内には必ず返信するようにいたします。もし1週間経っても連絡が無い場合、届いていない可能性も考えられますので再度お問い合わせください。



この事業は競艇の交付金による日本財団の助成を受けて実施します